

平成30年10月9日（火）

6日、7日に行われた県中地区中学校新人野球大会において、本校の野球部が第3位の成績を収めました。1回戦は高瀬中、2回戦は郡山支部1位の郡山五中を敗って、準決勝では優勝校の明健中と対戦しました。準決勝は、中盤まで0対0の互いに譲らない締まったゲームとなりました。本校が先取点を取っていれば、試合結果はどうなっていたか分からないような緊張感のあるゲームでしたが、あと一步のところまで県大会出場は叶いませんでした。中体連野球競技では、県中やいわきなどの各地区から県大会に出場できるのは、基本的に優勝と準優勝した2校のみです。また、県中などの各地区大会以上では、トーナメント戦で敗者復活はないため、一度でも負ければ、上位大会に出場することはできません。現在、部員が9人ちょうどの本校野球部が、2日間で4試合あまりを勝ち抜くためには、精神力、体力、野球に関する知識・技能において、他のチームと互角に戦えるレベルであることは勿論、少ない部員数を補える圧倒的な力、ナンバー1が狙える自分たちの強みを身に付ける必要があります。一番を目指すと信じ続けることで、必ず一番になれる時が来ます。そして、そのナンバー1が圧倒的になることで、常に新しいチャレンジ、新たな成長につながる可能性が広がります。地域の皆さんにスポ少時代から培ってもらった都路魂を、野球という舞台で失敗を恐れずに、これからも自信を持って思う存分に表現してください。バレーボール部、卓球部も、野球部の新人大会での活躍から得た知見や教訓を生かして飛躍することを期待しています。

さて、今日から後期が始まります。前期までに築いてきたものを土台にして、明日へ向かう希望というエネルギーを持つからこそ、今日における成功があるのだと思います。ふるさとのかけがえのない仲間を大切に、後期も失敗を恐れずにチャレンジを続けてください。現状維持を常に疑い、自分の殻を破ることに挑み続けることで経験値が上がり、大きな成長につながります。そのためには、登る山を決め、毎日どう行動したらいいかを逆算して決める必要があります。目標に対して積み上げただけでは、達成できる位置は限られます。目標を見据えて、6か月後、3か月後、1か月後、2週間後、1週間後とブレイクダウンすることで、「今やるべきこと」が明確になります。そして、もう一つ大切なことは、1週間後の100%を目指すことより、3日後の7割達成を目指すことです。計画・実行・反省・改善のPDCAサイクルを早く回すことで、より早い結果につながり、次の行動をより早く起こすことで、より良い結果が生まれる可能性が高くなります。勉強や部活動に限らず、このような考え方を様々なチャンスに生かしてください。

ところで、来週16日には、都路小・中学校として2度目のヤングアメリカンズを開催できることになり、大変嬉しく思います。ヤングアメリカンズのミッションは、「音楽を通して、世界をインスパイアすること」です。では、どのように人々をインスパイアするのでしょうか。大切にしているのは、一人一人に自分は大切に価値のある存在だと理解してもらおうこと、言葉や行動を音楽という手段にのせることによって勇気づけることです。ヤングアメリカンズの目標は、一人一人の夢を信じて、それが叶うように全力でサポートすることです。たった一つの励ましによって一人の人生を変えられるということ、一人一人をインスパイアできたならば彼らは自ずと周りをもインスパイアしていくこと、たった一人でも世界を変えることができることをヤングアメリカンズは信じています。来週のヤングアメリカンズでは、ありのままの自分を大いに表現して楽しむとともに、一人一人が大切なことに気づかされる日となることを願っています。